

令和6年度

総合的な学習の時間 第5学年 指導計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

単元名「SATOYAMAプロジェクト」全70時間（体験21時間）一学年一実践

小単元名「連光寺里山調査隊」(22時間)

小単元名「SATOYAMA博士になろう」(26時間)

小単元名「SATOYAMAから未来を考えよう」(22時間)

【ねらい】

桜ヶ丘公園や谷戸田での環境保全の活動（米作り体験・タケノコ堀）を体験する活動を通して、地域の自然の価値について考え、自分のテーマを探る。

【ねらい】

自分のテーマにそって調べたことや考えたことを作品にまとめ、発表会を開いて交流し、森林とわたしたちの生活との関わりや森の役割などについて考え、地域・保護者の方やユネスコスクールに向けて、発信交流する。

【ねらい】

炭焼き体験から循環型エネルギーであることを知り、炭の効用とエネルギーとしての視点について探究学習を行う。現代の地球環境の課題を見つめ、自分たちにできることを考え、行動する

【つかむ】

- 里山でのタケノコ掘りや米作り体験を通して、里山の水の様子や動植物に关心をもち、それらと関わる人々の営みについて、自分の追究したいテーマを探る。
- バルテノン多摩の資料室を訪問し、昔の人たちの生活についてつかむ。

【追究する】

- 自分の関心にそって、調べ学習を行う計画をたて、地域の専門家の先生や仲間と協力しながら調査活動を行う。

【まとめる】

- 調べて分かったことや調査結果などをワークシートなどに分かりやすくまとめる。

【発信する・行動する】

- 調べてきたことをもとに分かったことや考えたこと、

【つかむ】

- 谷戸田の米作り体験から里山の自然の様子をつかみ、環境を守るための活動の意味や方法を理解する。

○前期前半の活動から自分の追究したいテーマを決める。

【追究する】

- 自分のテーマを調べる計画をたて、仲間や地域の専門家の先生方と協力して米作り体験や里山の調査活動を行う。

○図書資料などを活用して、調べ学習を行う。

【まとめる】

- 体験したことや調べて分かったことなどを、発表を意識して作品にまとめる。

【発信する・行動する】

- 作品にまとめたことを仲間や地域の方々に発表する。

- 森の価値や役割を考え、未来の里山のためにできることを提案し、実践する。

【つかむ】

- 炭焼き体験などの共通体験から里山の自然や環境に关心をもち、森と人間や地球環境とのつながりについて関心をもつ。

【追究する】

- 過去の人間がどのように森や自然と関わってきたか、現代の地球環境がどのような課題をもっているのか調べる。

【まとめる】

- 炭焼き体験や森林教室を通して、地域の里山の価値に気付き、人間と自然の共生について考え、作文にまとめる。（森林コンクール）

【発信する・行動する】

- 一年間追究してきたことを通して、SDGsの観点から自分にできることを考え、作文や提案書にまとめて発表するとともに、実践する。

【育てたい資質・能力】

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・里山には多種多様な生き物が共生して生息し、生態系を形成していることや、人間も里山と共生していることを理解することができる。 ・必要な情報を取捨選択して活用したり、効果的な映像やインターネットからの情報を活用したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の里山の多種多様な生き物などについてテーマを設定し、活動の計画を立て、多面的・総合的に考えを深め、探究活動を行うことができる。 ・活動の様子や自分たちの考えを整理・分析してまとめ、仲間や地域の人に分かりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の里山の自然や環境保全に関わる人たちに関心をもち、意欲的に探究活動を行おうとする。 ・仲間や地域の方々と積極的に関わり、自然との共存・共生や環境保全のために自分たちができるを考え、協力して行動することができる。

【地域人材・関係機関】

○森林総合研究所 ○都立桜ヶ丘公園管理事務所 ○雑木林ボランティア ○高尾森林センター ○多摩市文化財 ○都立桜ヶ丘公園管理事務所